

## 鴿子洞文書について

森田憲司

1999年1月河北省北部隆化県の洞窟鴿子洞から多数の元代の文物が発見された。『文物』2004年第5期の隆化県博物館「河北隆化鴿子洞元代窖藏書」に、多数のカラー写真を附してその概略が報告されている。そして、そのなかに6件の文書が含まれていた。6件の文書は、『文物』の附したタイトルによれば、次のとおりで、いずれにもカラー図版、および釈文が掲載されている。（〔 〕内は、図版掲載場所）

- 1 至正時期失刺斡耳朵有関九春殿炭戸夏衣錢粮文書〔表紙裏〕
- 2 至正二十一年文書〔図41〕
- 3 至正二十一年四月民間契約〔図42〕
- 4 至正廿二年王清甫典地契〔表紙裏〕
- 5 民間契約〔図43〕
- 6 永昌庫放支官吏俸鈔賬〔図44、45〕

第4文書がほぼ完全に残っているのに対し、他の5件は断片のため、十分に内容を知ることはできない状態であるが、数少ない元代の文書として貴重である。

われわれの研究グループでは、これらの文書が貴重な元代文書群であることに着目し、検討会を、竺沙雅章、植松正両氏をはじめとする、科研メンバー以外の関係研究者の参加を得て、2005年6月25日に録文作成と検討の会を開催させていただいた。そして、1、3、4、5、6の文書についての宮澤知之氏の通貨史からの検討を掲載することができた。本来、第2号文書についても森田の解題を準備していたが、作業中に下にも紹介している党海宝氏の論文が刊行され、この文書についてはそこに論じられているので、ここでは、録文のみの掲載にとどめさせていただくこととした。

なお、この文書は中国においてはかなり注目されており、筆者が知る限りでも次のような研究が発表されている。これらのうち王大方氏の録文には問題が散見するが、張伝璽氏は、『中國歷代契約會編考釋』（北京大学出版社 1995）の編者で、文書研究については実績があり、党氏は北京大学に属する、元朝史・モンゴル帝国史研究での中国の気鋭の一人であって、いずれの録文も参考とするに値する。

- 王大方 元上都東涼亭与河北灤平鴿子洞出土文書述略 内蒙古文物考古 2004年1期
- 王大方 従河北隆化鴿子洞元代文書談元代的失刺斡耳朵 文物 2004年5期
- 張伝璽 新見鴿子洞元代契約識読 国学研究14巻（2004）
- 党宝海 一組珍貴的元代社会經濟史資料 中国社会經濟史研究 2005年2期
- 党宝海 元朝詔令的体例与下達—説河北隆化縣鴿子洞至正二十一年詔令 文史 2005年2期

## 追記

文書の釈文と研究であるから、本来は文書写真を掲載するべきなのであるが、現時点では『文物』掲載の写真しか見ることができず、また、この文書が、現在、どこでどのように保管されているかもわからないため、掲載を見合わせることにした。この文書に関心をもたれた方は、ぜひ『文物』掲載の写真を参照していただきたい。

(もりた けんじ 奈良大学)

付：鴿子洞第2号文書釈文

凡例

- 1 印刷の都合上、当用漢字、横組みとする。
- 2 すでに発表されている釈文と異なる箇所が少なくないが、個々の異同については表示しない。
- 3 □の中の文字は、推定によるもの。

治如有補泛濫給駅并□／  
一倉庫□合脩理外其余造作□□／  
一京畿之内非必用物色不許□／  
一各処応有元禁河泊除見弁官／  
一数下詔書權召隱論之士至連／  
不舉不応舉而舉□／  
一学校所以成人厚風俗／ ※成人の後に才か材が抜けているか  
一五岳四瀆聖帝明王忠／  
一死節死事之臣雖加褒／ ※難か雖か不確定  
一閑良官吏不幸陷／ ※「軍民」の可能性もある  
一諸罪人□□□□遠方既大軍不／  
一兵興以来各処守禦把截□進供／  
悞□給来□既遇原仰中書省枢密院□／  
一江浙兩淮福建兩広省宣慰司及総兵□□官転輸□／  
今後諸処致忠輸貢者仍頒爵賞／  
一近因兵興大小政務驟亟廢弛自中書省枢密院御史台□／  
一該載不尽事理並遵

世祖皇帝旧制及類降詔令舉行

於戲劇歳□□庸合□□

臣民体予至意

至正二十一年正月

付記

この釈文は、検討会で提出されたご意見を参考にしつつ森田が作成したもので、もし誤りがあれば森田の責に帰す。